

## 学生の視点からエコ活動を 学生と地域で考えるまちづくり会

幌北地区に、学生と地域の方々が協力してまちづくり活動を行っています。団体があります。名前は「学生と地域で考えるまちづくり会」。

その活動の一環である「廃食用油をキャンドル作り」の様子を取材しました。

また、生活の中でも廃食用油や牛乳パック集めを周りに呼びかけたり、移動には車ではなく地下鉄を使うなど、小さなエコ

活動は学生と地域をつなぐ重要なものになっていく。活動を始めるようになってきたそうです。「エコとまちづくりを結びつけて、これからも地域の方々と共に活動していきたいです。そのためにはもっと知識が必要です。環境問題について、まだまだ勉強していかなければなりませんね」と話す平野さん。

環境問題は、私たち一人一人に関わることです。大切なのは、環境に関心を持つこと。そしてどんなに小さなことでも、まずは自分にできる活動から始めることが、エコの第一歩なのだと感じました。

高校生記者が取材しました!

# 北区紹介



キャンドル作りを記者たちも体験



エコ活動について語る平野代表 (中央)

### 廃食用油でキャンドルを作ろう!

- ① 料理などで残った油を弱火で80℃まで温める。
- ② クレヨンを入れて好みの色に着色する。
- ③ 市販の油を固める粉を入れてかきまぜる。
- ④ お好みでアロマオイルを入れる。
- ⑤ 紙コップやガラス容器に流し込み、冷やす。
- ⑥ 冷えたら串で穴をあけ、風系を下まで通して完成。



完成したキャンドル

### 編集後記



取材はとても勉強になりました。キャンドルはとてもきれいでしたね。この記事を読んだ方にもぜひ試してもらい、小さなエコ活動を始めてほしいです。



もりなが かおる 盛永 薫 記者

廃食用油がキャンドルになるなんてとても驚きました。自分にもできるエコ活動を、これから生活の中で少しずつ見つけていきたいと思えます。



はやかわ まゆ 早川 真由 記者



こいけ ゆい 小池 唯 記者

みなさんのお話を聞いて、尊敬してしまいました。また、キャンドル作りはとても簡単。エコ活動をとて身近に感じることができました。